

## 第104号

## し ら さ ぎ

## 昭和も遠くなりにけり

社会福祉法人 丹後大宮福祉社会理事長

石河 良一郎

人それぞれの思いを残して「平成」がひとつの時代の幕を閉じる。

新しい「令和」が国民の大きな期待を受けてスタートするが、どのような時代を築くのか、どのような歴史を刻んでいくのか、どのような世の中になるのか大きく気になるところである。

昨夏、15年前に亡くなった母の遺品の整理をしていた時、その中から汚れた古い「妊産婦手帳」が出てきた。開いてみると何とそれは私の母子手帳であった。今になってこのようなものが見つかったことに感激し、あらためてその記載されている内容に当時の時代背景や生活の一部を知ることになった。

私の生年月日は昭和22年2月22日である。同じ数字が並んでいることから皆さんに直ぐに憶えてもらえて、今でも誕生日には多くの人にお祝い(?)の声をかけて頂いている。本当に嬉しいことだ。

ところが、見つかった手帳の分娩時間には2月21日午後10時との記載がされている。今の病院分娩では考えられないと思うが、22日付で出生届けをしてくれた父親に感謝であ

る。ちなみに、大宮町口大野の産婆さんに取上げてもらったこと、体重が740匁(約2,800g)の正常分娩であったことも確認できたことである。

そして、戦後の間もない非常に厳しい食糧難の生活を見て取れるように、砂糖(1斤=600g)・粉ミルク(1ポンド=約450g)などが毎月のように当時の長善村(長岡と善王寺)から配給されている。ちなみに、ネル・ガーゼなども配給の記載があるから今では考えられないような物資の欠乏した時代である。

この妊産婦手帳に10項目にわたる心得が非常に仔細に書いてある。その第二に「丈夫ナ子ハ丈夫ナ母カラ生マレマス。妊婦中ノ養生ニ心ガケテ、立派ナ子ヲ生ミ、オ国ノタメニツクシマセウ」とある。

調べてみると、驚いたことにこの母子手帳の制度が出来たのは、昭和17年、まさに第2次世界大戦の最中であり、「産めよ・増やせよ」の軍国体制の中の暗く厳しい時代の国策として、国運を懸けてスタートした施策だったということである。しかし、戦後この母子の健康管理をする取り

組みが世界中で高く評価され、今では姿を変えて約40カ国を超える国に普及し導入されているそうであるから、改めてこの施策に対する認識を新たにしたいところである。

冒頭にも触れたが、新しい元号「令和」がスタートする。日本人の元号に対する思いや考えは特別なものがあるといわれている。漢字の持つ意味だとか、書き易さ、画数等々決まるまでは国民の一大関心事であった。これから始まる「令和」がひとつの時代として国民にとって、平和で安寧な日々が過ごせるよう祈念したい。

終わりにになりましたが、お世話になつております皆様方には、あゆみが丘学園に対しまして倍旧のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。





# 小さなことから コツコツと

支援部部长 中西 政博

春眠暁を覚えず、春の日差しがほつり嬉しい季節となりました。今年の冬は例年雪深い五十河の里にも積雪のない歴史的に珍しい冬でした。昨年の酷暑や豪雨、度々の台風とも通ずる、異常気象が続いています。

昨年度の支援部の活動を振り返りますと、各種委員会活動に於いて虐待防止などの現代的課題への対策、利用者の高齢化に対応すべく介助される側も介助する側もできるだけ負担の少ない排泄ケアにかかわる研修等に取り組んできました。

障害者虐待防止法の施行に伴い、これまでの処遇について見直し、支援する側の知識の向上、技術の向上が求められます。政治家たちのハラスメントに対する失言でも注目されたように、個人の考え方やこれまでの常識を見直し、改める必要があります。コミュニケーションの壁を抱える利用者の立場や気持ちになった処遇技術の向上が求められます。経験年数も取得している資格もそれぞれであり、今後も職員の意識を揃え利用者の支援にあたっていく必要があります。

二〇二〇年の東京オリンピックに

# 福は内、インフルは外! —今年はおきました!

支援員 藤田 泰弘

ジェット気流の大蛇行による北極振動によって北日本に寒さと降雪をもたらした冬でしたが、どういふ訳か西日本では例年以上に暖冬だった実感があります。「そのうちドカッと降る」と言い続けていたら、春になつ



「乗り出していく勇氣をお伝えできたように思っています。双方のプログラムは毎年の通りなので触れませんが、職員感想より拾うと、新年会のホーム対抗のど自慢大会の充実ぶりを窺わせる「楽しめ

向けて今年度は日本中の様々な場所・場面で多様性についての課題の解決が進められていきます。障がいのある方もまた多様性の一つであり、そのことで生きていきにくさが小さくなつたり、なくなつていたりするような社会の構築が進められていくことと期待したいです。その変革・変化には私たち個々の考え方の変革・変化が不可欠です。福祉の現場に於いて、利用者の多様性を理解し、尊重しながら日々関わる中、微力ながらそんな社会の構築にかかわることができればと思います。



てしまつて唾然としているような塩梅です。しかし、有り難いことにこの暖冬は、当園に二つの良いことをもたらしてくれました。



ました。一つ目は気温の高低差が平年以下だったことにより、予防対策の徹底と相俟つてインフルエンザの流行を或る程度抑えられたことです。二つ目は、そのことにより前年できなかった新年会と節分の行事を、ブナの木寮と本館の往来を遮断したり、予定していた弁慶寿司さんをお断りした予防策もありましたが、実施できたことです。二月十八日の新年会と二月六日の節分は久しぶりに予定の一部変更を加えながらもすべて行うことができて、利用者の皆さんに邪

# 昔とつた杵柄

支援員 田中 慎吾

毎年行われる学園行事の一つにクリスマス会があります。昼食にはクリスマス特別メニューがふるまわれ、職員・利用者さんによるステージを楽しみ、おやつには普段はなかなかお目にかかれないケーキを食べ、その後はお待ちかねのサンタクロースからのクリスマスプレゼントというイベント盛りだくさんの行事です。

私はその中でステージ担当という役割をいただきました。どういうステージにしようかと企画を考える役割です。そこで、学園で今までにやったことのないステージができないだろうかという発想のもと、約一時間ぐら



ず始めに職員によるバイオリンと、利用者さんによるリコーダーでクリスマスソングを演奏してもらいました。そして、三遊亭天どんさんの「クリスマス夜の夜」という落語を芝居にアレンジし、その後には先ほどの芝居と関係した別の話をオリジナルで考え、次にキャンディーズに扮した職員に「年下の男の子」を歌ってもらい、最後に皆でクリスマスソングを歌うというものでした。これらの要素をどうやって一つにつなげようかとかなり頭をひねりました。



# 厨房を のぞいてみよう。

今西 美妃

春暁、伊根のじやこが鍋から香るとともに厨房の朝も動き出す。味噌汁から出る湯気を越して、利用者さんの元気な朝の挨拶も聞こえてくる。厨房でも「味付けどうかな?」「この大きさは食べやすいかな?」など言葉が飛び交っている。食事は利用者さんを笑顔にするものだと思うので、利用者さんの心がほつとすると、温かくて楽しい食事の提供を微力ながらもこれからもお手伝いできたらなと思つ毎日です。そんな厨房の風景を...



ホタテのサラダに春雨スープ  
利用者さん大好物  
大豆とかぼちゃの青のり揚げ



ジャムクラッカー作成中!!  
丁寧な作業で160枚!!!  
利用者さん喜んでくれるかな? (^\_^)

4月のメニュー!  
イチゴサンドと野菜サラダ!  
にんにくたっぷりパスタで元気もりもり!  
彩りきれいだね!



2019年度ホーム担当

<b>かえでホーム</b> (6名) ○富田圭介・奥田大介 稲鍵直人・坂根宏志 永岡直子・齋藤幸子	<b>もみじホーム</b> (5名) ○藤村秀平・井戸本博 大島光成・坂根有美子 小幡江里	<b>わかたけホーム</b> (5名) ○井上俊文・安田勇輝 荒田有輝・今西省三 中西ひとみ	<b>まつのきホーム</b> (5名) ○中西盛人・永岡宏文 濱田庄司・井田孝茂 上田澄代	<b>かすみ草ホーム</b> (4名) ○池本杏奈・井戸本佳奈 野木美春・末富元子	<b>たんぽぽホーム</b> (4名) ○西村美穂・増田由巳子 吉田あかね・片岡倫子	<b>すみれホーム</b> (4名) ○安里仁美・下戸まり子 今田千鶴子・伊達めぐみ	<b>しらかばホーム</b> (8名) ○上羽行直・牧野武範 田中慎吾・佐野勉 藤田泰弘・相見八重香 仙頭由起子・横谷慶子	<b>コスモスホーム</b> (6名) ○田中静・中村朋子 岡田文江・辻田彩加 小西安子・藤村文美
---	---	--	---	--	---	---	--	---

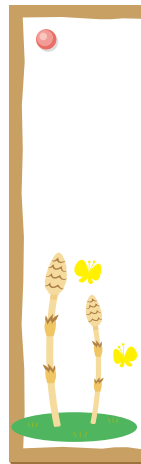
※○はリーダー

お知らせ

【採用】

◎支援員 坂根宏志  
平成三十一年二月一日付け

◎支援員 小西安子  
平成三十一年二月一日付け



新  
人  
職  
員  
紹  
介

支援員 坂根 宏志

1月から入りました坂根です。これから皆さんと共に歩んでいきます。よろしくお願いたします。

支援員 小西 安子

前職を定年退職し、あこがれのあゆみが丘学園に採用していただきました。歳が大きい大型新人です。ので覚えが悪いですが、どうぞよろしくお願いたします。



リサイクル作業

(アルミ缶・銅線・古紙回収) への協力いただいた方



平成三十年十二月十六日

平成三十一年三月十六日

(敬称略)

相見美佳、安達良史、安達酒店、安達電気、新井孝弘、芹田完二、五十嵐屋商店、生野電気、石河(有)、稲岡嘉郎、稲岡晴子、岩佐利夫、今西久野、梅田歯科医院、エナジールランド大宮、えびす電気工事店、大宮北保育所、大宮第一小学校、大宮第一小学校PTA家庭教育委員会、岡島三協製作所、岡田喜美子、オギノ電機、小笹フサコ、大西勲、掛津区観光部、金子産業(株)、河内山豊美、京都日産自動車(株)、小池食料品店、河野哲朗、小西デンキ、コマキデンキ、米トウタイル、後藤鉄工所、笹岡昭義、笹岡儀和、サニーアイランド、シラキ(株)、末次電気商会、宋徳建設(株)、玉木明司、大同享子、高田暁美、大同宏子、でんき館やました、中村久美子、西田建設、西原謙次、畑中酒店、林範尚、日達利雄、平井電気、フリーク、フルーツ王国やさか、藤村順一、堀敏雄、堀博昭、堀保彦、堀江栄志、堀鉄工所、ホリロク(株)、マジカル、まるぜん書店野田川店、水口進、峰山鉄工所(株)、宮尾倍行、村井春雄、矢野辰雄、矢野博、ヤマモト電化サービス、由利徳七、よぎ電工(株)、吉田電気商会、吉村食料品店、(株)吉岡設備、(株)吉岡商店、吉岡美智代、(株)ルコモコ、ワタマサ、BGRセンター、明田・遊・五十河・

事務だより

平成三十年十二月十六日

平成三十一年三月十五日

(敬称略)

【寄贈】  
(株)ルコモコ

【寄付】  
医療法人社団 山吹会



編集後記

昨年、一昨年と雪が多かったの  
で、今年の冬は本当に雪が少な  
くてよかったと思う反面、少し  
物足りなくも感じるのは贅沢な  
んでしょうか？三歳の子供がい  
るんですが、雪遊び用のつなぎ  
のジャンパーとスノーブーツを  
買ったんですけど、二回も出番が  
ないまま冬が終わってしまいま  
した。少し大きめを買ったので  
来年使えればよいのですが、だ  
からといって雪がたくさん降っ  
てほしいわけではなく、完全  
にわがままですね…